



かさ

楓

かえ下

お盆号

お盆の由来と お供え物

夏本番、間もなくお盆の時節となります。
お釈迦さまの十大弟子のひとり「目連尊者」
が、亡くなったお母さんがどのようなようにして極楽
で暮らしているかと思い、神通力をもって探し
てみるとなんとお母さんは極楽ではなく、餓鬼
道に堕ちて苦しんでいることが分かったそう
あります。

驚き悲しんだ目連尊者でしたが、自分の力
はどうにもならない事と悟り、お釈迦さまにお
母さんを救う方法をお尋ねいたしました。

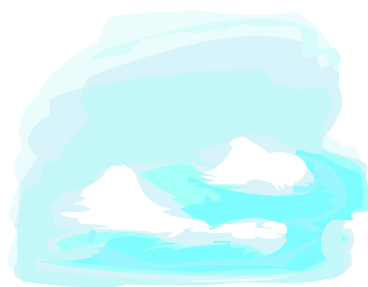
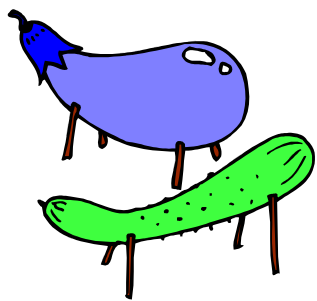
すると、お釈迦さまは「旧暦の七月十五日に
雨期の修行を終えた僧侶が集まり、修行の反省

会が行われるので、その時にその僧侶たちに馳
走供養をして上げなさい。」と教えられ、早速教
えのようにしたところ、お母さんを餓鬼道から
お救いすることが出来ました。

さらにお釈迦さまは「色々なご馳走をお盆に
盛り、仏さまや僧侶、大勢の人々に供養すれば、
その功德によって多くの祖先の苦しみが除かれ、
今現在生きている人も幸せを得ることが出来る
でしょう。」と説かれ、このお釈迦さまの教えが
お盆行事の由来となりました。つまりお盆は母
親に対する孝養の心から始まっているわけであ
ります。

亡き人々の御霊を迎え、赤飯や煮しめ、季節の
新鮮な果物や野菜などをお供えし、先祖代々有
縁無縁の方々を供養することによって私たちの
「この命」「この体」のすべてが、ご先祖の限り
ない大きなご恩によってもたらされたものであ
ることを感じ、団欒のひとときを過ごすことが
できるのであります。

また、余談ですが、皆様はお盆の精霊棚にお
供えする夏野菜として、「きゅうり」と「茄子」
があり、それにつまよ
うじを刺して四つ足に
して供えたものを見た
ことがあるでしょうか。
古来インドの考えと
して、亡くなった方は
月の裏側に住んでおり、
お盆や法事などでこの



世に戻る時は馬車に乗って戻ってきて、またあ
の世に帰るときは牛車に乗って帰っていくとい
う信仰がありました。思えばそういう信仰は日
本にも昔からあり、昔話の竹取物語でもやはり
かぐや姫は月に帰るときには牛車に乗っていく
場面があることから想像できます。

そのことから、つまようじを刺した「きゅう
り」を馬に見立て、同様に「茄子」を牛に見立
てて、ご先祖さまの里帰りの手助けをするとい
う気持ちがあのお供え物にはあらわれているの
です。

ともすれば、私たちは「お供えしてあげる。」
「供養してあげる。」と思いがちですが、せめて
お盆の時だけでも、心をこめて「お給仕させて
頂く。」「ご供養させて頂く。」という心を持ち、
ご先祖さまの里帰りを気持ちよく過ごしてもら
えるようにしたいものであります。

合掌

慈光寺住職 高谷 剋行

お盆中のおねがい

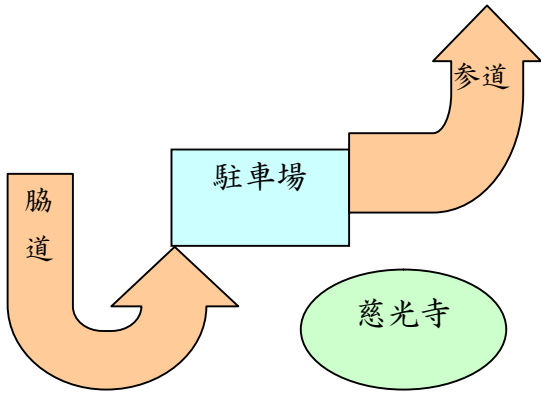
ゴミは必ず持ち帰りましょう。

現在焼却炉は久慈市の条例により使用不可能です。燃えるゴミであっても必ず持ち帰り皆様各家で処分なされるようお願いいたします。ご先祖様が里帰りなさる慈光寺の景観を汚す事のないように重ねてお願いします。



車でおいでの方は決まった道順で走ってください。

お盆中は大変駐車場が混雑します。お盆中は杉並木の参道を開放いたしますので、おいでになる方は左の図のよう
に、これまでどおり脇の道を通って駐車し、お帰りの際には参道側から帰られるように一方通行の形を取りたいと思いますのでよろしくお願いします。なにぶん狭い駐車場で皆様には大変ご不便をかけますが何卒ご協力の程をよろしくお願いします。



お焚き上げ

古くなった角塔婆や板塔婆、仏壇やお盆用品などはお盆を迎える前に処分しましょう。部屋同様にお墓もきれいにしてお先祖様をお迎えしましょう。慈光寺では毎年左記によりお焚き上げを厳修しております。お焚き上げを希望する方は指定の場所に前日までに持ってきておいて下さい。それ以後は来年まで一切受付しませんのでご注意ください。

日にち 八月十三日(土)

お焚き上げ場所 慈光寺新墓地脇

(立て札がありません。)

合同初盆供養

今年初盆を迎える方々の合同供養を左記により行います。ご希望の方は電話受付ですので、慈光寺にご連絡を下されば、当日ご回向し、塔婆をお渡しいたします。申し込み締め切りは八月十日までとさせていただきます。

日にち 八月十二日(金)

午前十時より

場所 慈光寺本堂

供養料 一霊につき 五千円

参道清掃のお願い

お盆を迎えるにあたり、参道の清掃をする慣例により、寺の境内墓地をお持ちのお檀家さんの勤労奉仕をお願いすることになっております。参道に各地区の標示をしておきますので、七日盆までに一戸あたり一坪見当で清掃するようご協力をお願い致します。

清掃奉仕の紹介

裏庭の長い間たまった池の泥を、新町老人クラブの皆様のご奉仕により取り除き、きれいな池になりました。また、十門地建設さん・下館建設さんのご協力により、池の景観も新たなものになりました。この場を借りて厚く感謝申し上げます。ぜひ、慈光寺にご参詣の際には、裏庭の景色も散策して皆様の心静かな時を過ごさせる機会になれば幸いです。

これからの慈光寺行事予定

9月22日~24日 慈光寺檀家旅行

本山・伊豆半島方面
※詳細はおって連絡します。

10月21日 慈光寺開山忌法要

添付の趣意書をご覧のうえ、是非ご参加下さい。